

Interview : GX×DX — 最先端を走るソリューション企業



中四国営業課の田路(トウジ)です。

今月号では、機械工具販売会社から「工場総合支援・ものづくりソリューション企業」へと進化し、お客様のトータルコーディネートを実現している株式会社TOSAMACHINE様取材しました。
単なる「脱炭素」「デジタル化」ではない、未来のものづくりを切り拓く価値提供
——そんなTOSAMACHINE様の最先端の実践をご紹介します。

株式会社TOSAMACHINE様(高知県)

田路:社長室も事務所もかなり様変わりされましたね。

宮本:この1年間で大きくリノベーションしました。昨今外部環境の変化も激しく、当社のビジネスモデルも大きく変化しています。これにより従業員の働き方も変化しているため、モノや人財に力を入れて投資しています。

田路:福利厚生に力を入れており大変素晴らしいですね。ビジネスモデルが大きく変化したとのことですが、具体的にはどのように変化されたのですか？

宮本:ECの台頭によって、商品を納めるだけではお客様の満足を満たせなくなってきました。今後は工場総合支援を図るソリューション企業へと進化する必要があります。そのためにもまず我々が先んじて、最先端を走る必要があり、その取り組みとして、「GX」「DX」「リノベ」等はやくに行動を起こしています。どんなことでも挑戦してみて、ものづくり支援企業No.1になり、お客様の課題解決に貢献していきたいと考えています。



▲宮本社長との対談

田路:外部環境の変化にしっかりと対応されていますね。

我々コンサルタントもお客様へ総合支援ができるように、これからも多くの価値提供を行っていきたいと思います。

宮本:今年からは「エア漏れ診断」という新たなサービスを開始しました。ゼロプラスさんに支援していただいた「SBT」や「ゼロモニ」といった脱炭素ツールを駆使して、我々なりにできることを考え、サービス設計しました。「エア漏れ診断」をきっかけに、削減できるはずの電気代や消耗品費、CO2など機会損失をカバーいただければ幸いです。このトータルコーディネートにより、お客様のお悩みをひとつでも解決できればと思っています。

田路:我々がご提供したサービスを御社オリジナルの形でご利用いただいております。感銘いたしました。脱炭素の取り組みも取得することがゴールではなく、その先の未来を創ることがゴールとなります。一緒にカーボンニュートラル達成を目指しましょう。

▼CO2排出量削減目標

2030年までにCO2排出量42.0%の削減。
2050年までにカーボンニュートラルを実現することを目指します。



▼DX戦略



▼エア漏れ診断

実は日頃から、気になっていませんか？！

- ☒ 電気代の高騰。工場内の使用量に無駄はないかな？！
- ☒ カーボンニュートラルへの取り組みで、どうすれば、CO2排出量を削減したい。
- ☒ コンプレッサーの能力が弱ってきたような気がする。
- ☒ たぶん、エア漏れしてる。けど場所が特定できない。
- ☒ エア漏れ診断は、工場の稼働中でも、診断してもらえるのかな。
- ☒ 工場のメンテナンスはしている。けど、エア漏れ診断はしたことが無い。

1つでも気になる方へ

まずは、お気軽にお問い合わせください。→

【歩み(タイムライン)】

2023年12月	SBT認証取得	2025年4月	エア漏れ診断サービス開始
2024年5月	CO2可視化ツール「ゼロモニ」利用開始	2025年5~9月	外観・内装リノベーション
2024年12月	社用車にEV導入、旧車複数台入れ替え	2025年6~9月	DX認定申請から取得まで

工場総合支援・ものづくりソリューション企業
株式会社 **TOSAMACHINE**



「GX」や「DX」、難しいと足踏みされている企業様、
ぜひ弊社やTOSAMACHINE様と一緒に始めていきましょう。

▼SNS等二次元コード



会社名:
株式会社TOSAMACHINE
住所: 高知県南国市日吉町2丁目1番7号
電話番号: 088-863-2888
会社HP: <https://tosamachine.co.jp/>



株式会社 **ゼロプラス**
ZEROPLUS Co., Ltd